

Monthly Repo. **ならやま**

徳地 恵男

6月3日(木)活動 晴れ 69名 近大生2名

緑濃い初夏のならやま。1カ月半ぶりに元気な仲間が集まる。朝の打合せで会長の交代が報告される。前会長から5年間信任されたことへのお礼、新会長からは皆さんと一緒に汗を流していこうとの言葉がある。これからの2か月間新型コロナウイルス感染に背水の陣で対策を徹底するよう午前中だけの活動とし、マスク、手洗いと共に大きな声で話さないことの注意を守ることを確認する。



里山Gは部分皆伐地区の枝の整理、薪割りをする。エコGはタマネギ、レタスなどの収穫と田植えの準備を行う。景観GはBC周辺の草刈り、ビオ班は水生生物調査、花班は花壇の草引きをする。ノカンゾウは満開となる。パトGは2コースをパトロール、希少植物の柵を作る。果樹Gは見事に実を結んだウメの収穫、販売の準備をする。

6月10日(木)活動 晴れ 70名

夏の青空が広がる。10時前に佐保台小学校から5年生23名、先生方3名が田植え体験にやってくる。全員で元気な子どもたちを迎える。

朝早くから TENT 張りやブルーシート、足洗い場等の準備をする。二つの田は水が張られ目印の紐が引かれている。会長の挨拶、田植えの説明の後、



子供たちは一列に並んで紫黒米品種「さよむらさき」の苗を3本ずつ手でつまんで植えていく。初めてとは思えないくらい上手だ。田の畔からは応援の声が広がる。約1時間かけて田植えは終了、豊作を祈って田植えの歌を歌う。新聞社、テレビ局からの取材がありインタビューに答える児童の姿もある。

子供たちが帰った後、短い時間だがそれぞれの作業につく。今日もウメがたくさん収穫される。花壇の草引きも忙しい。

6月17日(木)活動 晴れ 69名 近大生3名

先週の田植えの様子が新聞3紙に載り、掲示板に貼られる。昨日に比べ気温は6度高くなる。学びの森整備に向けて現地確認を実施。また、山林への立ち入り注意の警告表示が取り付けられる。

里山Gはシイタケ棺木置き場の整備、コナラ育苗床の除草。ユート班はマツ林の落ち葉掻きをする。

エコGはメロン、ゴーヤ、オクラ苗の定植、ナスの支柱立てと脇芽欠き、水田の苗の捕植を行う。景



観Gは彩りの森で除草作業、ビオ班は土手改修工事、タガイと水生生物定期調査を行う。花班は山野草園の整備と除草、皇帝ダリアの支柱を立てる。パトGは展望広場の笹狩り、倒木の処理を里山Gと共にやる。果樹Gは実りの森の除草作業、ウメの収穫販売を行う。